

自治会	自治会名	海野町 (うんのまち)
	自治会 拠点住所	長野県上田市中央2丁目10-13
	拠点施設名	海野町会館(昭和55年竣工) 5階建、鉄骨モルタル、エレベーター・AEDを完備 ※第1次避難場所に指定されている
	世帯数等	居住世帯数: 159 店舗、事業所数: 101 会員数: 260 R4.1現在
	管轄消防分団	第三分団

海野町の誕生は、NHK大河ドラマ『真田丸』(2016年放映)で話題になった戦国の武将、日本一の兵(ひのもといちのつわもの)と謳われた真田幸村の父、昌幸が天正11年(1583年)上田の地の千曲川支流の河畔、尼ヶ淵に城を築くに際し、先祖の地、海野郷(現東御市本海野)から住人を移住させて町並みを作らせたのが起源です。同時期に原郷(現上田市真田町本原)から移築して町並みを作らせたのが原町であり、この2町を町人街としたのが北国街道沿いの上田城下町の起源です。

信州上田祇園祭には、寛政12年(1800年)に無病息災・疫病退散を祈念して建造された『お舟の天王山車』の曳航行列(右上写真)を海野町商店街で行ないます。自治会役員が袴装束を着て先頭に立ち地元小学生や中学生が曳き子として山車を曳航します。海野町の住人で結成した『海野町お囃子の会』が行列に華を添えます。



また、海野町商店街通りに昌幸公が海野町を作った際に、商いの守護神として請願された『海野町市神 高市神社』(右下写真)があります。2月には節分会、11月には1年の無事を感謝し商売繁盛を祈願する「えびす講祭」が催されます。



自治会紹介

海野町の範囲を下図に示しました。(黒枠内)
海野町商店街通りを中心に東西は、中央交差点付近から東交差点付近まであり、西側は大手町東側は、横町が隣接しており、北側は原町と袋町、南側は、松尾町と本町が隣接しています。



<p style="text-align: center;">組 織</p>	<p>自治会役員 自治会長、副自治会長、会計(任期：1期2年) 監事2名、自治会長を退任後、10年間は、顧問役を行う。 ※自治会内を11部に分け、3棟のマンションは、それぞれ9部B(シェーナ・ウーノ)、 10部(サーパス上田中央)、11部(アルファステイツ上田大手門)として、各部に部長、 副部長を選出してもらい、部内の回覧・広報等の配布、自治会費等の集金、 蛭沢川の河川清掃、資源回収当番等を行う。</p> <p>委嘱委員 公民館運営委員：分館長、副分館長、分館主事、人権同和教育委員、 青少年育成推進指導委員</p> <p>消防委員、衛生委員</p> <p>推薦委員 常任統計調査員(2名)、健康推進委員、少年補導委員、民生・児童委員、社会福祉推進委員 防犯指導員(2名)</p> <p>公認団体 中央公民館海野町分館、第三分団海野町班、海野町防護団、小学校・中学校PTA、 松緑会(老人会)、マレットゴルフ会、趣味の会、健康クラブ、お囃子の会</p> <p>神社関係役員 祭事委員、科野大宮社総代・副総代、弥栄神社運営委員、祇園祭実行委員、 高市神社管理運営委員</p> <p>神社関係団体 高市神社奉賛会、三十番海野町奉賛会</p>
<p style="text-align: center;">主な行事</p>	<p>蛭沢川河川清掃、ごみゼロ運動、海野町マレットゴルフ大会、信州上田祇園祭 敬老祝賀会等</p>